

# 新聞新設

専川「川」

「川」の「川」

H11・9・9

帯広支社  
☎0155 (22) 0401  
FAX (28) 2519

釧路支社  
☎0154 (41) 3832  
FAX (44) 2065

北見支社  
☎0157 (23) 4666  
FAX (66) 2175

網走支局  
☎0152 (44) 2675  
FAX (61) 2175



道東全域から測量、自治体関係者らが集まった

「川」の「川」を保全していく考え方に転換した。釧路湿原は釧路川流域に広がる日本最大の湿原でラムサール条約登録地として知られる。しかし近年、乾燥化が進みつつあり、湿原保全は急務となっている。

今回の新たな取り組みは、釧路川流域に広がる釧路湿原の保全を河川管理者の開発局が最重要課題として掲げ取り組むという、全国でも珍しい事例だ。

具体的には、対策の検討組織を設置。河川工学、生態系

## 別海町の事例説明

道GIS 道東セミナー開く  
技術研究会

【根室】道内の測量会社などが中心となり組織する北海道GIS技術研究会（座長・本山有里 本山測量設計社長）は八日、対外的には初めての

地理情報システム（GIS）セミナーを別海町マルチメディア館で開いた。測量関係者への技術紹介だけでなく、自治体関係者に対しての利用方法紹介として、インサ測量設計が構築した別海町周辺のGISを利用し、このシステムの特徴を解説。測量会社が構築・運用に携わることのメリットも伝えた。

この日の道東セミナーでは、GISが何ができるのかといった基本的なことから、GISの構築、運用方法までを紹介。データの理論的精度が重要であることなど紙地図との違いを説明した。また、別海町周辺のGISを使い、さまざまな理論データ（道路管理、固定資産、上下水道管理、農地管理）などを加えた各システムを説明。測量会社が既にGIS構築・運用の技術を持つことや、求められる修正・追加に迅速に対処でき

などの専門家や有識者が構成する既存の「釧路湿原の環境調査に関する検討委員会」のメンバーに環境庁、流域自治体などの関係者を加えた「釧路湿原の河川環境保全に関する検討委員会」を立ち上げ、湿原保全や河川管理の進め方を検討し、開発局に必要な調査や試験を実施する。

「川」は制度化したいく方針で、専門家は開発局が依頼流域住民については公募などを実施することによっていく方向で検討している。

釧路湿原はこれまでの五十年間で二〇％近くの湿地が減少したとの調査報告が出ている。原因は周辺の開発や河川の直線化に伴う土砂流入量増大や河畔林の減少など。これに乾燥化の原因に基づき検討委員会では、さまざまな保全に向けた取り組みが提案されることが考えられる。

り組みとしてはいまのところ、検討案に基づく湿原の各種調査や保全、回復試験などソフト的なものから、池や沼、河畔林の設置、標茶町の沼幌地区のように過去にシフトカットされた部分の蛇行河川の復元などハード的なものまで広範囲に及ぶ。また、立ち入り制限を設けることで、湿原の機能低下を防ぐ措置も考えられている。

釧路川については十二年度中をめどに、新河川法に基づいた河川整備方針の策定への準備を進めている。これに先駆けて組織される今回の湿原保全の検討委員会は、同方針や河川整備計画の策定課程でも必要とされる流域委員会でも重要な位置を占めていくとみられる。

【網走】網走市は地域戦略プランに基づき所管事業の実施箇所を明らかにした。道路系一カ所、治水系六カ所の計八カ所に四億七千八百万円が配分されている。

【北見】専門増加。北見市までの八月の受理状況によれば、前年同月比で前年より、十六件増

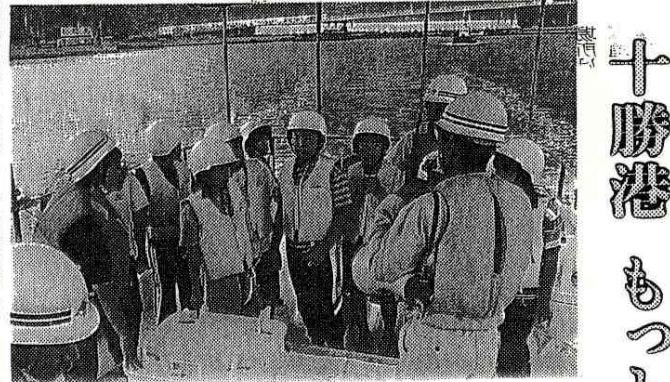
### 件数

建設関連指標  
工戸数が百三十三月比三四・五％連続で前年を下

### 8カ

用地費だけの除き、来週にも表す見通し。

実施地区は次々  
◇道路一カ所  
▽江湾清里



## 十勝港 もっと身近に

十勝港をもっと身近に  
帯広開建は八日、広尾町内の小学生を対象に十勝港見学会（ポトウオッチング）を行った。

### 帯広開建

同見学会は町内の小学生に港づくりの目的や役割、必要性などを理解してもらうとともに、港を身近に感じてもらうと、九年度から毎年実施している。今回参加したのは野家小五年生九人。

## 小学生ポトウオッチング

救命胴衣と安全帽を着用して監督測量船りんごに乗り込み、十勝港を一周。船上では港の歴史や防波堤の作り方などについて職員の説明を受けた。

中には初めて船に乗る児童も見受けられ、海上を勢いよく進む船や船上からの景色に歓声を上げながらも「この海はどのくらい深いがあるんですか」といった素朴な疑問を職員に投げ掛けている。

陸上に戻ったあとは、現在しゅんせつ工事が進められている第四ふ頭の現場を見学。二時間程度で見学会を終えたが、子どもたちは十勝港を身近に感じる貴重な時間を過ごした。（帯広

【帯広】三十一日、帯広市測量に從事して、本年の、員建設大臣、田遠雄同部長達された。

同表彰は、わけて毎年行、長年にわ